赤とんぼ確認 川越仙波で

夏空がない、湿度だけが高い日々。台風接近の影響という話だ。

そんな中今年の赤とんぼ確認は7月末日となった。

以前会社勤めをしていたころ、お盆の休みで山形へ。空に赤とんぼが舞っており、秋は知らないうちに近づいているものだと思った。作家の渡辺淳一さんが「秋は忍び込んでいる」とエッセイに記し、さらにその想いは強くなった。「暑さ寒さも彼岸まで」はもちろんだが、川越百万灯夏まつり、提灯の灯がなくなり秋が近づくと
いうことか？